

# 4 デジタル技術を活用した水稲収穫量調査の精度向上に向けた研究・実証

令和8年度予算概算要求額 777百万円（前年度－）

## <対策のポイント>

水稲収穫量調査について、民間企業等で利活用が進んでいる人工衛星データやAI等のデジタル技術を活用し、精度の向上を図る効率的な調査手法について研究し、実装に向けた検証を行います。

## <事業目標>

- 食料・農業・農村基本計画における生産量や作付面積等のKPIの設定及び米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定等に貢献。
- デジタル技術の活用により、統計の品質向上及び調査手法の効率化を図り、継続的かつ適切なデータの提供を実現。

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 水稲収穫量調査の精度向上に向けた手法の研究・実証

水稲収穫量調査の精度向上に向け、デジタル技術を活用し、効率的かつ信頼性の高い調査手法の研究及び実証を実施します。

① 人工衛星データとAI等を組み合わせた水稲の収量予測手法の活用に向けた研究等、効率的かつ信頼性の高い調査手法の検討・実証を実施します。

② 主に大規模生産者等からの収量コンバインの収穫量や高温障害等の気象被害の状況、カメムシ等による病虫害の状況などのデータ提供により、調査結果へ反映する仕組みを検討した上で、SNS広告等を通じてデータ提供に協力いただける者を募集し、オンラインコミュニティを構築します。

### 2. 水稲作付面積調査の精度向上に向けた手法の研究・実証

人工衛星データとAI等を組み合わせた水稲作付判別の技術が向上してきていることを踏まえ、水稲作付面積調査について、近い将来、デジタル技術を活用した調査への移行を目指し、効率的かつ信頼性の高い調査手法の研究及び実証を実施します。

### 【水稲収穫量】

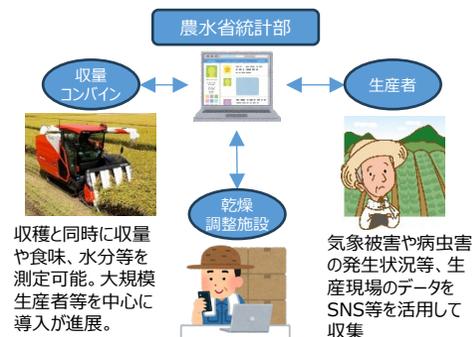
#### <①衛星データ等による水稲の収量予測手法の活用に向けた研究等>

- 収量予測モデルによる衛星データの解析など、水稲の収量予測の研究を実施します。

#### <②SNS等を用いた生産者等のデータ収集・活用の検討>

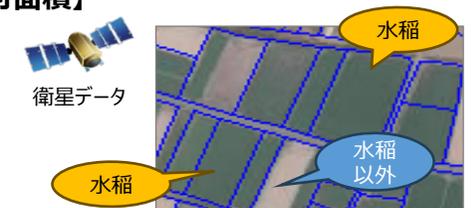
- 収量コンバインの収穫量や高温障害等の気象被害の状況、カメムシ等による病虫害の状況などのデータを、アンケート機能等を活用して生産者等からデジタルデータを迅速に収集し、水稲収穫量調査へ反映する仕組みについて検討します。

- SNS広告等を通じて、データ提供に協力いただける者を募集し、オンラインコミュニティを構築します。



### 【水稲作付面積】

- 衛星画像を解析し、水稲が作付されたほ場を判別するモデルを構築し、水稲作付ほ場を抽出します。統計値として活用可能な精度の確保に向け研究・実証を実施します。



## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 大臣官房統計部生産流通消費統計課 (03-6744-2045)